

「学ぶ権利」を奪わないで！

道理のない高校つぶしはストップを！

公立高校の「定員」はゆとりがあって当たり前！

府教委はこの5年間に府立高校・大阪市立高校あわせて7校を廃校にし、今後5年でさらに8校を廃校にする計画です。背景には維新の会が制定させた条例の「3年連続定員に満たなければ再編整備(=廃校)」の規定があります。しかしそもそも公立高校の「定員」はゆとりがあって当たり前。府教委も毎年「進学セーフティネット」として進学予定者数を上回る募集数となるよう調整しています。「定員に満たない」学校が出るのは「進学したくても行き場のない子」を出さないためです。条例には道理がありません。

8校廃校計画・府立学校条例は見直すべきです！

府教委は10月19日、「コロナによる厳しい社会経済状況」を理由に「今年度は廃校決定を行わない」としました。公立高校つぶしが子どもたちの「学ぶ権利」を奪うと認めているからです。それなら、道理のない高校つぶし計画は撤回し、条例そのものを抜本的に見直すべきです。



コロナ禍のもと、高校つぶしより20人学級を！

新型コロナの収束が見通せない今、学校では、1クラス40人では「密」を避けられないことが大問題になっています。一方、世界では、OECD諸国の平均は1クラス20人程度。もともと過密な日本の学級定員は、見直しが急務です。大阪府には他都道府県が実施している独自の少人数学級制度もなく、府立高校の学年あたりのクラス数は全国から突出して大規模です。“ウィズ・コロナ”の時代、少子化をチャンスに「20人学級」など教育条件改善こそ行うべきです。高校つぶしはそれに逆行します。

■ OECD諸国のクラス人数

順位	国名	人数
1	ラトビア	15.6
5	フィンランド	19.1
11	ギリシャ	20.8
14	オーストラリア	21.4
20	ドイツ	24.0
21	イギリス	24.3
25	アメリカ	26.5
26	韓国	27.6
30	コロンビア	31.4
31	日本	32.2
OECD平均		22.9

日本は最下位

※生徒数/クラス数の比較(中学校)



大阪の高校を守る会

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11-707 ☎ 06-6768-2106 [2020年11月発行]

署名にご協力
ください

署名用紙は、
<http://www.fukokyo.org/>
からダウンロードできます。

